

井形昭弘学長を偲ぶ

名古屋学芸大学短期大学部
学 長 中 西 克 彦

昨年の8月12日、本学の前学長井形昭弘先生が急逝されました。

本学が既に2015年度に募集停止になり、最後の年度を迎えた中での、予想だにしなかった出来事でした。教職員一同、大きな衝撃を受け、井形先生を喪った悲しみに包まれる中、後任として、私、中西克彦が残る期間、学長を務めさせていただくことになりました。

井形先生は、平成14年度の1年と、平成19年度から本年お亡くなりになるまでの約9年間、合わせて約10年もの間本学の学長を務められました。

この間、現代総合学科の立ち上げに加え、日進市との連携協力協定の締結や本学開学40年記念式典、開学50年記念式典等を精力的にこなしておられました。

本学は現在の2年生の卒業を待って、長い歴史の幕を閉じることとなりますが、その一番大切な最後の10年間、定評ある懇切な教育に加え、研究においても立派な成果を残すことができたと感謝しております。

井形先生は、この研究紀要にも強い熱意を示しておられ、お亡くなりになる前に、最終号にあたる本号の巻頭挨拶文に加え、最後の原稿として時評も寄稿しておられました。それらについては、先生のご遺志と踏まえ、予定どおり掲載することといたしました。井形先生の最後のメッセージとしてお読みいただければ幸いです。